

## YMCA健康福祉専門学校

# 健康福祉ニュース

### What's New!

・ お待たせしました  
キャンプ報告

・ スポーツデイが  
行われました

### YMCA専門学校の特色とは？

私たちYMCA健康福祉専門学校は、介護福祉士、社会福祉士、保育士や幼稚園の先生、障がい者や高齢者、子どもから成人まで指導できるスポーツインストラクターを養成している職能教育の学校です。昨年度のデータでは、新入生のほぼ全員が、毎月実施している「カレッジ・イン(学校説明会+体験入学)」に入学前に参加し、「考え方が変わった」と私たちYMCAの考え方に共感して入学した人達です。資格を取得するだけではなく、YMCAという学びのフィールドに期待をしている学生たちと言えるかも知れません。では、そのカレッジ・インを少しご紹介しましょう。

本校のカレッジ・インは、まず「YMCA」という団体の活動紹介から始まります。1844年イギリスのロンドンに発祥したYMCAは、今年で163年目を迎えますが、現在でも創立者であるジョージ・ウィリアムズの志を受け継ぎ、高齢者支援 子ども・家庭支援 地域支援 ボランティア育成 環境、国際というどの時代にもある社会の課題に向き合っていることをお伝えしています。

次に「命と向き合う仕事と専門職に求められるもの」というお話をさせて頂いています。以前は資格取得=就職という考え方が一般的だったかも知れませんが、命と向き合う仕事には、偽物は通用しません。困難さや課題を抱えている人達にしっかりと寄り添う事ができる本物の専門職を現場も求めているのですというお話です。そうですね。資格を持つ専門職にはその資格を持つ責任がありますから。そして「YMCA専門学校は、YMCAの使命である平和な世界を共に創造したいという若者たちが、YMCAの長い歴史の中で培ってきたグループワークの手法を用いて、本物の専門職を養成したいと願っている学校です。」とお伝えしています。在校生や卒業生との交流会では、先輩たちの入学の動機やYMCAでの学校生活、ユース・リーダー活動や学校行事、就職活動、将来の夢などの「生の声」を聞くことができます。サポートボランティアとして自ら進んでYMCAを伝えてくれています。

本校には、YMCAあつぎ保育園ホサナと学童保育あゆの学校、水泳教室や体操教室、介護予防教室や生涯学習の各種プログラムが学校内に併設されています。さらにプールでは知的障がい者のスペシャルオリンピクの練習会や生活習慣病予防教室などにも提供したり、神奈川県HIVエイズ抗体検査場としても地域の役割を担っています。行政からの委託事業も多く受け入れています。

自閉症やダウン症のある子どもたちもYMCAの水泳や体操、キャンプに参加しています。これらのプログラムすべてに、YMCAの学生たちがボランティア・ユース・リーダーとして関わりを持ちながら、サポーターとして活躍してくれています。支援しているはずが参加者やその保護者から励まされ、実は支えられている、そのことに気づく学生たちがたくさんいることは大変嬉しいことです。また、学校行事も多く、YMCA野外教育キャンプ、5校スポーツ交流大会、江ノ島まで35kmチャリティーウォーキング、国際・地域協力募金活動、YMCAインターナショナルチャリティーラン、YMCA祭、クリスマス礼拝、合唱祭、HIVエイズ勉強会など、その多くは学生による実行委員会が中心になって行われています。

これがYMCA専門学校と他の専門学校や大学との違いなんです。他の学校には決して真似のできないプログラムが、YMCA専門学校にはあります。私たちYMCAと一緒に、命と向き合いながら、互いに配慮ができ、誠実で、責任感が強く、尊敬し合うことができる資格を持つにふさわしい専門職を目指して互いに育ち合う学生生活を過ごしてみませんか。

YMCA健康福祉専門学校  
校長 小林 一郎





車いす生活になってから遭われた交通事故「坂ながし」のお話は衝撃的でした

## 特別授業「障がい者からのメッセージ」

6月23日(土)に、「障がい者からのメッセージ」として特別授業が行われました。講師としてお招きした伊藤道和さんは、高校の体育の先生をしていた29年前、授業中に頸椎を損傷、以降車いすでの生活を送っています。アメリカ製の電動車いすにはモニターがついていて、あごで操作しています。

事故から29年間、体の痺れはずっととれないし、歩いている人との比較をしてしまうと、生きていても仕方ないと思うことも

ある。でもいのちは与えられたもので、自分で心臓を止めることはできない。だから、自分のできることを探して一生懸命やる、とお話してくださいました。

現在は、唯一自由に動く口で絵筆をとり、作品を描いている伊藤さん、「人生をあきらめないで闘っているように見えた」との感想が聞かれました。



夏の専門学校体育大会へ向けて練習します！

## バスケット部全国大会予選、見事準優勝！

1年生を迎え、新メンバーで挑むはじめての大会(全国専門学校バスケットボール大会地区予選)が、6月30日、7月7日、14日の3日間行われました。今年、広島で開催される全国大会へ出場できるのは1チーム。優勝しなければ全国はない、という厳しい大会です。

県選抜メンバーも含まれた主力メンバーが卒業し戦力的に不安があったものの、男子は1年生の活躍もあり、全国大会こそ逃したものの、グループリング2位、決

勝トーナメント準優勝という素晴らしい結果を残すことができました。福祉スポーツ科専攻科の大野康太郎さんは「全国にいけなかったことは本当に悔しい。夏の大会は思い残すことのないよう、絶対に勝ちます！」と話してくれました。専門学校体育大会は8月14日から伊勢原市体育館で開催されます。



## 横浜YMCAカレッジグループ合同スポーツデイ



健康福祉科3年生は最後のスポーツデイ綱引きの準優勝は大きな思い出です

6月29日に横浜文化体育館でカレッジグループ5校合同のスポーツデイが行われました。当日の運営はスポーツデイ委員会を中心に行われ、風船運びリレー、綱引き、大縄跳び、リレーの4種目を5校24チームで競いました。YMCA健康福祉専門学校からはクラスごと8チームがエントリーし、スポーツを通して交流を深める一日となりました。綱引きでは、自分たちのクラスだけでなく、自分たちの学校のチームが出場している周りで、みな一丸となって大きな声で応援してくれました。結果、健康福祉科1年生が優勝、健康福祉科3年生が準優勝、介護福祉科2年生

が3位と上位を独占することができました。最終種目となったリレーでは、スポーツ専門学校の圧倒的な(!)速さにかないませんでしたが、2チームが準決勝に進んだほか、参加した全員が真剣に取り組む姿が印象的でした。

今年は開会式の中で、先日行われた富士山YMCAでのボランティア報告をさせていただきます。めざす分野は違いますが、YMCAの仲間とさまざまな経験を共有することができました。



# 山！海！キャンプ！

先月もお伝えしましたように、YMCA健康福祉専門学校では各学科で野外キャンプ実習が行われます。野外活動の技術の習得だけでなく、雄大な自然の中でグループワーク活動を通して、自然と共に生きること、環境のためにできることを考え、お互いに協力すること、支えあうこと、そしてお互いの成長を認め合うことが目的です。日常とは異なる生活環境の中でクラスメイトの新しい一面や自分自身の新しい一面を発見し、一回り大きくなって戻ってくる学生がたくさんいます。

## 野外キャンプ実習(富士山YMCAグローバルエコビレッジ)



福祉スポーツ科では、太さ40cm、長さ5mの大きな丸太を10本、富士山に向かって並べ、チャペルの椅子を作りました。メインホールの屋根組に使われた白糸杉の丸太の余った部分を再利用しています。



キャンプ中はたくさんのワークやゲームを行います。自分のこと仲間のことを少しずつ理解していく時間です。



国道沿いに立てる看板を作った健康福祉科。長く使ってもらえるといいなー。



基本的に野外調理です。炊飯器や電子レンジって本当に便利です…



## 海洋キャンプ実習(大阪YMCA阿南国際海洋センター)



同じ時期にキャンプ実習を行っていた大阪YMCAの専門学校生と一緒に記念撮影！

カッターに挑戦しました。誰か一人でも自分勝手に漕いでしまえばまっすぐ進むことはできません。



## エイズボランティア講座に参加しました

7月17日(火)、かながわレッドリボンプラザ主催による「エイズボランティア講座」が行われました。YMCA健康福祉専門学校からも、健康福祉科、介護福祉科、福祉スポーツ科の1年生から約80名が参加しました

今回の講座は「世界がもし100人の村だったら～HIVエイズバージョン」。会場となった厚木YMCAの体育館にて大規模なワークショップが繰り広げられました。一人ひとりに与えられた役割に従い、自分たちの「100人村」の現状を体感し、HIVエイズを取り巻く世界の、そして日本の現状を考えるこのワークショップや、ファシリテーターの「世界的に見てHIVエイズ感染がいまだに増加しているのは日本とアメリカだけ。それもその40%がここにいる皆さんと同じ年代の人」という言葉などから、エイズの問題は「知っているようで知らないこと」、「遠いようで近い問題であること」であることを考える良い時間となりました。

いろいろな人がいるこの村では あなたとは違う人を理解すること  
相手があるがままに 受け入れること  
そして何より そういうことを知ることが とても大切です (100人村メッセージより)

### 第14回AIDS文化フォーラム in 横浜

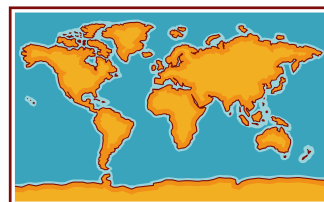
8月3日(金)～8月5日(日)

かながわ県民センター(横浜駅西口徒歩5分)

オープニング企画は、「患者と医療者 その関係性(パートナーシップ)について」  
HIV(+)の3名とそれぞれの主治医を交えた本音トーク。いま、患者は何を求め、  
医療者はどう対応しているのか。

「100人村エイズバージョン」も体験できます！

<http://www.yokohamaymca.org/AIDS/>



## YMCA健康福祉専門学校

福祉スポーツ科  
健康福祉科  
介護福祉科

〒243-0018

厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441

FAX 046-223-2101

Email: [ymkenko@yokohama-ymca.or.jp](mailto:ymkenko@yokohama-ymca.or.jp)

HP: <http://www.yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線厚木駅から徒歩5分  
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ！

ホームページもご覧ください

<http://www.yokohamaymca.ac.jp/health/>

## Realize your dream!

～地域福祉をささえるのはあなたです！～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。